

東ひろしまの遺跡 Vol.2

はりいしふんきゅう ぼ 貼石墳丘墓を発見！

じん ひらにし さいじょうしたみ
陣が平西2号遺跡 (西条下見五丁目)

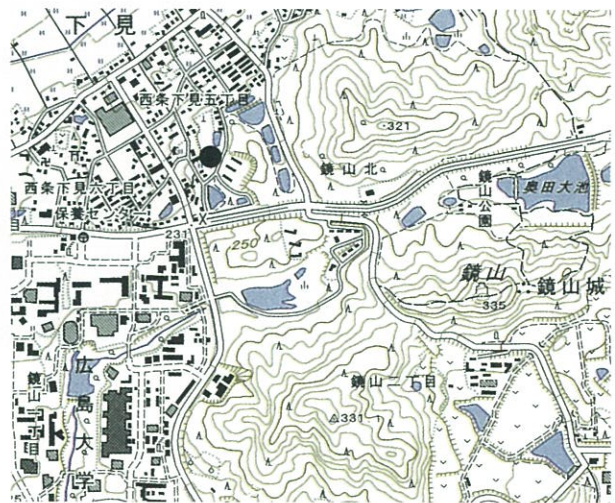


陣が平西2号遺跡は、平成26年1月～3月まで集合住宅建設に伴って発掘調査されました。調査の結果、貼石墳丘墓1基（主体部と考えられる木棺墓1基）、石蓋土坑墓1基、木棺墓群（木棺墓4基）、単独の土坑墓1基などが見つかりました。

貼石墳丘墓の貼石は、割った石の平らな面を上にして並べられており、長さ約8mが残存していました。墳丘の盛土は流失してしまったと考えられ、残っていませんでした。なお、貼石墳丘墓で検出された木棺墓（写真奥）は、貼石の軸とは異なる主軸で構築されています。

また、写真手前の石蓋土坑墓は、貼石墳丘墓の貼石の一部を壊し、石を再利用して構築されたものと考えられます。

出土遺物は、弥生土器、石製品（石鏃）、鉄製品（鉄鏃）などです。



陣が平西2号遺跡位置図 (1:25,000)

出土遺物

貼石墳丘墓の裾部から、弥生時代後期初頭と考えられる壺つぼや高杯たかつきと、鉄製の鎌かま（曲刃鎌まがりば）が出土しています。

また、墳墓群上層の土器も、墳丘墓に祀られた土器が流れていったものと考えられます。

このことから、貼石墳丘墓の構築時期は、弥生時代後期初頭頃と推測されます。



貼石の検出状況

東広島市内初の発見

弥生時代の中期から後期にかけて、墳丘の斜面に貼石を伴った方形の墳丘墓が存在します。その分布の中心は、日本海側と中国山地（広島県北部）に限られていました。

しかし、陣が平西2号遺跡から（方形）貼石墳丘墓が見つかったことで、分布範囲の南端が広島県北部から南部の西条盆地まで一気に南下したことになります。

なお、考古学に詳しい方は、中国山地から伝わった墳墓と聞けば、「四隅突出型墳丘墓」を思い浮かべる方もいらっしゃるかもしれませんが、陣が平西2号遺跡の貼石墳丘墓が四隅突出型墳丘墓である可能性については、残念ながら“不明”と言わざるを得ません。残存状況が悪いため、“隅”部分は残っておらず、詳細な観察ができなかったのです。



陣が平西2号遺跡完掘写真

ただし、貼石墳丘墓が西条盆地で見つかったこと自体、初見であり、中国山地の文化が伝わっていたことは疑いようがありません。今後の調査によっては、大発見もあり得るのではないのでしょうか。

セットで出土した土器

だんごやま 団子山5号遺跡 (さいじょうちょうじけ 西条町寺家)



SK1 遺物出土状況

団子山5号遺跡完掘写真

団子山5遺跡は、平成26年6～7月に産業団地の造成に伴って発掘調査されました。本来は、大きな集落であったと考えられますが、モータープールの造成で大部分が壊されました。しかし、発掘調査の結果、^{たてあなじゆうきよあと}竪穴住居跡や土坑が見つかるなどの成果がありました。なかでも、SK1は、直径約1m、深さ約2.1mを測り、ほぼ垂直に掘り込まれていました。当初は、「井戸」と考えていましたが、^{ゆうすい}湧水層まで達していないのか、調査の期間中、全く



団子山5号遺跡位置図 (1:25,000)

水が湧き出ることはありませんでしたので、水の確保が目的ではないのかも知れません。

また、このSK1からは、弥生時代中期後半の土器が3点セットで出土しました。

この3点以外は破片も見つかっていない（埋めた当時のまま）こと、^{かめ}甕・^{はち}鉢・^{つぼ}壺と異なる器種を選択していること、底部や胴部に穴を開けている（完形品ではない？）ことなど、謎が多い遺構です。

どんなマツリゴトをしたのでしょうか？



展示会のポスター

市制施行40周年記念展示会を開催しました。

東広島市教育委員会では、「東広島市出土文化財管理センター」の展示室において、市制施行40周年を記念して、特別展示会を開催しました。

市内の主な発掘調査を回顧するとともに、数多くある出土遺物の中から、弥生時代と古墳時代の青銅器とガラス玉を主に集めて展示しました。東広島市出土の青銅器は県内でも発見例の少ない貴重なものばかりです。

期間中、350人を超える方々に来館していただきました。職員一同心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

約2000年～1500年前の人々の生活や国際交流についてロマンを感じていただけたでしょうか。



ひとがた 木製の「人形？」が出土！

せいもん さいじょうちょうどよまる
聲門遺跡 (西条町土与丸)



出土した人形？

街路整備事業に伴って発掘調査が実施された聲門遺跡から、須恵器・土器・瓦に混じり木製品も多数出土しました。木製品の中には、顔などが表現された、人の形代(=人形?)がありました。人形?は、呪いや病気治療などにも用いられ、これに息を吹きかけ、体をなで(「一撫一吻」)、災いをして流したようです。

- (右)
- 長さ：163mm
- 幅：32mm
- 厚さ：2.5mm
- (左)
- 長さ：148mm
- 幅：40mm
- 厚さ：2.5mm

東広島市出土文化財管理センター報
東ひろしまの遺跡 Vol.2

発行日 2015(平成27)年3月19日
 発行 東広島市出土文化財管理センター
 (東広島市河内町中河内651番地7)
 TEL:082-420-7890 〒739-2201)

編集 東広島市教育委員会生涯学習部文化課
 E-Mail hgh207890@city.higashihiroshima.lg.jp
 印刷 大東印刷株式会社